



# 子育てに「余裕」を

エプロン通信員 津原 涼子

幼い頃、母親と二人で生活していた私は、一緒に遊んでいた友達があつた時、何となく寂しかったのを今でも覚えています。それが今では夫と3人の子供、合計5人家族になり、思うようにならないスケジュールや食材が減っていくことの早さにとまどいながらも、就寝の際に人に入り、周りを見渡すと、小学校の修学旅行かはまだ部活の遠征にでも来たような気持ちになり、その存在を有り難く思う毎日です。そして、この日々は本当に多くの方々

が支えてくださっているおかげだと痛感します。その中でも特に、私が3人目を出産し、退院するまでの5日間お世話になったファミサポの方々です。一番心配なのは、私がない間、子供2人と夫だけで大丈夫なのかという事。また、夫の仕事が遅くなった時、頼んでいた母が迎えに行けなかったらどうするのか、考えられる不都合は次々と出てきました。その時、保護者の代わりに送迎や一時預かりをしてくれる制度を知りました。宜野湾市が運営する制度で、料金こそかかれど、良心的で、利用してみよう

と決めました。いざ市役所へ行き登録。こんなことで利用するなんて、少し大袈裟かな?と考えましたが、

美容室に行く際や塾の送迎などで結構多くの方が利用しているとのこと。

そして、預かってくださる方との面会。緊張していると、元保育士さんという女性の方が優しく笑顔で「ごちよう」と大きく手を振ってくださり、二目でこの人なら大丈夫と思えました。また、ファミサポの方にも「夜中になってもいいから困ったことがあったら必ず連絡して」と言っていたとき、結果的に急な出産になつたにも係わらず、安心して過ごすことが出来ました。

今まで、自分の力で精一杯やれることはやろうと思っていました。が、子供を育てる上で余裕がないのはとても「ワイ」こと。その余裕を守るために制度を頼つてもいいんだと思



※ファミサポ…宜野湾市ファミリーサポートセンター。既存の保育施設では応じられない臨時的・一時的な育児援助の隙間を埋めることで安心して仕事・家事・子育てができるために、会員の相互援助活動(有償)をサポートする制度

お問い合わせ  
保育課 ☎893-4411 (内線178-460)

## 茶 ぐわーゆんたく 89

### ムヌアカシエー(なぞなぞ)、解けるかな?

ことばの中にある意味を包み隠した問題を出して、その意味を相手にあてさせる「なぞなぞ」。遊びは、家庭ではもちろん、学校の行事などでも行われ、誰でも一度は経験したことがあると思います。

宜野湾では「なぞなぞ」のことをムヌアカシエーと言っていました。ムヌアカシエーのムヌとは全てを表し、アカシエーとは明かす・はっきりさせるという意味になります。これまでの聴き取り調査から、宜野湾でも古くから「なぞなぞ」遊びがあることがわかっています。その中から宜野湾に残る「なぞなぞ」をいくつか紹介します。

- ①「畑ヌ 盃小、何ヤガ。」(畑の小さい盃な-に。)
- ②「取ティン 取ッティン 減ナランセー 何ヤガ。」(取つても取つても減らないのは何だ。)
- ③「上カラ 読ティン、下カラ 読ティン、同ヌ名ヤ何処人ガ。」(上から読んで下から読んでも同じ名の人は何処の人か。)
- ④「古ナティン、チャー新物、何ヤガ。」(古くなつてもいつも新しいものな-に。)
- ⑤「座ネー 高クナティ、立チネー 低クナイセー 何ヤガ。」(座ると高くなり、

立つと低くなるのは何だ。)

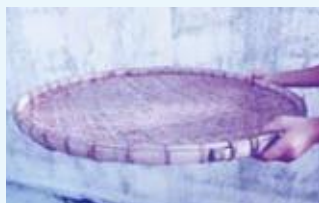
現在とは生活習慣などの違いがあるの

で少し難しいですが、解けましたか?

③は、特に宜野湾ならではの言葉です。「なぞなぞ」を楽しむ姿は、昔も今も変わらないようです。秋の夜長をムヌアカシエーで楽しく過ごしてみたい方が

ですか?その他のなぞなぞを知りたい方は、『宜野湾市史第五巻 民俗』に収録

していますので、ぜひご覧下さい。



▲ミージョーキー  
竹で作られ穀類・豆類の調整用として使われた。



▲さつまいもの花  
出典:『沖縄植物野外活用図鑑第2巻 栽培植物』1979年

- (答え)
- ①「芋蔓文化」(さつまいもの花)
- ②「相撲」(相撲だ)
- ③「男女名の人だ」
- ④「ミージョーキー」(ざるだ) ミージョーキーのミーを新しくかけている。
- ⑤「天井」(天井だ)

「宜野湾市史」へのお問い合わせ  
教育委員会文化課 ☎893-4430